

1. 目的

この運動は、年末特有の気ぜわしさや、帰省、旅行、買物などに伴う交通流量の変化などから交通事故多発が懸念されるため、県民の参画と協働のもと交通安全意識を高め、思いやりのある交通行動を習慣付けることにより、交通事故防止を図ります。

2. 期間

12月1日(水)から31日(金)までの31日間(運動初日の12月1日は「交通安全意識を高める日」とします)

3. 主唱

兵庫県交通安全対策委員会

4. 運動の基本

年末の交通事故防止運動では、「高齢者の交通事故防止」を運動の基本とし、外出時における自宅周辺(500m以内)での交通安全行動の実践と交通ルールの順守を促すため、参加・体験・実践型の交通安全教育や家庭・地域ぐるみでの「まちかど安全声かけ活動」を推進します。

5. 運動重点

- (1) 夕暮れどきと交差点での交通事故防止
- (2) 飲酒・速度違反など悪質・危険運転の追放
- (3) シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

6. 重点などに関する主な推進項目

1. 夕暮れどきと交差点での交通事故防止

- ◆「夕暮れどきの早めのライト点灯」の実践
- ◆自転車・歩行中の夜光反射材着用の促進
- ◆「交差点 はっきり・しっかり安全確認」啓発活動の促進



2. 飲酒・速度違反など悪質・危険運転の追放

- ◆飲酒運転の追放「三ない運動」の推進
- ◆高速道路における「高速運転安全5則」の実践
- ◆家庭・学校・地域・職域における暴走行為追放気運の醸成

3. シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

- ◆シートベルト、チャイルドシートの着用効果に関する正しい理解の推進
- ◆後部座席でのシートベルト着用促進
- ◆体格に合ったチャイルドシートの使用と座席への正しい装着の徹底



「思いやり」で「しるる兵庫の交通安全」

「年末の交通事故防止運動」

平成16年度交通安全県民運動

「こころふれあう 町民のつどい」講演会

「愛は国境を越えて」 ～ジョセフ彦 ある漂流者の決断～

講談とピアノが織り成す音楽絵巻

今回の「こころふれあう 町民のつどい」講演会は、播磨町が誇る先覚者「新聞の父」ジョセフ彦の波瀾万丈の生涯を、人権の視点をあてて生き生きと描く音楽絵巻です。ぜひ、お誘い合わせのうえお越しください。

《出演》
旭堂 南左衛門氏 (講談)



本名・西野安彦、三田市出身。旭堂南陵に入門し南学を貫く。昭和62年に真打昇進、旭堂南左衛門を創名。平成3年には、第8回咲くやこの花賞(大阪市)を受賞。平成5年には国立演芸場花形演芸会金賞を受賞。最近では、新しい講談を構築し、「講談・講談の世界に観る戦国武将(信長・秀吉・家康)の人の心の掴み方」を各地で講演し、好評を博す。

高田 泰治氏 (ピアノ)



大阪音楽大学音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業、同大学院ピアノ・ソロ研究室修了。在学中より日本テレマン協会のアーティストと共演し、「延原武春オーボエリサイタル」における伴奏は好評を博す。その後、様々な演奏会で活躍し、「このように美しいフォルテピアノの音は耳にしたことがない」と絶賛されるほど、フォルテピアノ奏者としての魅力を遺憾なく発揮している。

蓮池小学校高学年数人が、旭堂南左衛門氏直伝の口上を披露！お楽しみに。
なお、講談の脚本は作家の中野順哉氏(日本テレマン協会)が担当、播磨町の取材には正願寺の井上朋義氏に協力いただき、播磨町オリジナルのジョセフ彦像が完成！

日時 12月5日(日)
午後1時30分～3時40分(開場午後1時)

場所 中央公民館 大ホール
主催 播磨町・播磨町教育委員会・東はりま人権啓発地域ネットワーク協議会
共催 播磨町人権・同和教育研究協議会
協力 兵庫県聴覚障害者協会、手話サークルはりま、要約筆記ひまわり
内容 2市2町中学生人権作文入選者表彰式(30分)、講談
問い合わせ 生涯学習課 ☎0794(35)0565